

オプション検査：乳線

主に、乳房触診と乳房エックス線（マンモグラフィー）によって調べます。

乳房触診

検査の内容

乳房の皮膚に変化があるか、さわってみてしこりがあるか、乳首から異常分泌物がないかなどをみます。



検査でわかること

以下の疾患が疑われます。

乳腺腫瘍	乳房にふれた腫瘍（しこり）は腫瘍の可能性もあり、良性か悪性かを判断するために画像検査で調べる必要があります。
乳腺症	乳房に腺増生と萎縮をきたす良性の病変です。境界が不鮮明で不規則な乳腺がふれます。真の腫瘍との鑑別のため、画像検査が追加されることもあります。

乳房エックス線（マンモグラフィー）

検査の内容

乳房の病変をX線（マンモグラフィー）をつかって調べます。病変がある場合、良性か悪性かの判断の指針となります。

検査の注意

X線をつかうので、妊娠中の人には適しません。妊娠の可能性がある人も必ず申し出てください。

乳房を圧迫装置ではさんで撮影するため、多少の痛みがあります。乳房の小さい人のほうが痛みがあるようです。



検査でわかること

画像検査では、カテゴリーの1～5に分類されます。

多くの場合、カテゴリー3では経過観察か精密検査、4・5では精密検査が必要となります。

カテゴリー1	異常ありません。
カテゴリー2	石灰化した繊維腺腫、乳管拡張症などによる多発石灰化、脂肪腫、乳房内リンパ節、豊胸手術による影響など、明らかに良性と診断できる所見です。
カテゴリー3	良性の可能性が高いが、悪性の可能性も否定できない場合です。超音波検査などの追加検査が必要です。
カテゴリー4	悪性の疑いがあります。悪性の可能性が高い病変で、他の検査が必要になります。
カテゴリー5	ほぼ乳がんと考えてよい病変があります。さらなる検査が必要です。